

地域のみなさんが行う緑化活動に樹木を配付しました！

▶ 配付先 53 箇所 配付本数 1,716 本

樹木の種類

セイヨウカナメモチ	414 本	サザンカ	92 本
ソメイヨシノ	378 本	キンモクセイ	73 本
ヤマザクラ	272 本	ヤマモモ	16 本
イロハモミジ	252 本	コブシ	13 本
ハナミズキ	99 本	ハクモクレン	13 本
サルスベリ	94 本		

「自分たちのまちに愛着を持ってもらいたいという思いから」

活動主体：つばさが丘東自治会／場所：つばさが丘4号公園（熊取町）

つばさが丘4号公園は、熊取町つばさが丘東地区にある公園で、日頃から多くの地域住民の方々を訪れる憩いの場となっています。また、毎年7月に開催される夏祭りには、地域住民だけでなく、他地区からも多くの方々を訪れるなど、地域の交流の場にもなっています。



本公園を維持管理している、つばさが丘東自治会では、自分たちのまちにさらに愛着を持ってもらいたいという思いから、植樹活動を行うこととしたそうです。

植栽する樹木については、自治会内で「花見をしながら住民同士で交流をしたい」、「数十年後に、この桜は子どもたち自らが植えた桜だと、話してあげたい」などの意見が出たことから、ソメイヨシノを中心に植えることにしたそうです。

植樹活動では、子どもたちにも一緒に植栽体験をしてもらおうと、植栽する1週間前に植栽穴を大人たちで掘り、準備をしたそうです。子どもたちにとってもきっと良い思い出となったことでしょう。

自治会長さんは「みんなで植えた桜の下で、子どもたちや地域住民の方々が花見をするなど、自分たちのまちに愛着をもってもらうきっかけになれば嬉しい。」との想いを語ってくれました。



緑化樹の配付事業

「季節の花があふれる住宅づくり」

活動主体：山田西第一次住宅管理組合/場所：山田西第一次住宅（吹田市）

山田西第一次住宅は昭和55年3月に建設された、全5棟150戸の分譲住宅です。同住宅の管理組合では積極的に住宅敷地内の環境整備や清掃などを行っています。

その他にも、敷地内に花を植える活動を継続的に行っており、今回は、住宅内の環境整備工事に合わせて、樹木の植栽を計画されました。

敷地内には、すでに様々な樹木が植えられており、それらとの調和性を考え、ハクモクレン、ハナミズキ、キンモクセイなど合計52本の植栽が行われました。

樹木の維持管理は、同組合が中心となって行っており、灌水施設を設置するなど、生育に配慮されていました。

その他、住民の半数ほどが、2カ月に1回程度開催される清掃活動に参加され、雑草抜きなどの樹木の管理を共に行うことで、住民間の交流が増えているとのことでした。

同組合の理事長は、「これからも、住民みんなで協力して、水やりや雑草抜きなどの樹木の管理に努め、みどりと花と建物の景観の調和を保っていきたいと思います。」とおっしゃっていました。



「桜いっぱい住宅を目指して」

活動主体：星ヶ丘町桜咲咲会/場所：岸和田荒木住宅（岸和田市）

岸和田荒木住宅は、昭和36年に建設され、岸和田市北西部に位置しています。平成9年に高層団地として建て替えられ、住宅地一帯は「星ヶ丘町」の愛称で親しまれています。

平成19年には、桜を通じて地域住民の顔の見える明るく楽しい団地づくりを行うことを目的として、「星ヶ丘町桜咲咲会」が発足されました。団地がたくさんの桜で満開になるようにとの思いから、毎年十数本のソメイヨシノを植樹されています。

敷地内のグラウンドでは毎年老人クラブ主催の桜まつりが開催されており、地域交流の一大イベントになっているそうです。住民の方々は桜の季節を楽しみにされており、今後もますます地域交流が活発になっていくことでしょう。

